

観 点	発 行 者 2・東書	17・教出	46・帝国	116・日文
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	○ 地理的分野の目標が達成できるよう取り上げられている学習活動			
	<ul style="list-style-type: none"> 「世界の地域構成」において、世界各国の人口、面積、国境などから地域構成を大観したり、信仰する宗教との関係などの国旗の由来から世界の国や地域についての関心を高めたりする活動 「世界各地の人々の生活と環境」において、6つの事例地域と東京の雨温図の違いに着目して人々の生活の様子を考察したり、異なる自然環境や宗教とのかかわりから生活や環境の多様性を理解したりする活動 「日本の地域的特色と地域区分」において、自然環境や人口、資源・エネルギーと産業、交通・通信の特色をとらえ、地震や津波発生の仕組み、防災・減災の取組を理解する活動 	<ul style="list-style-type: none"> 「世界の地域構成」において、世界各国の面積や人口などから地域構成を大観したり、国旗や国名に織り込まれている文化や歴史から世界の国や地域についての関心を高めたりする活動 「世界各地の人々の生活と環境」において、人々の衣服・食事・住まいや言語・宗教に着目して人々の生活の様子を考察し、世界各地の自然・社会条件と労働とのかかわりから生活や環境の多様性を理解する活動 「日本の地域的特色と地域区分」において、自然環境や人口、資源・エネルギーと産業、交通・通信の特色をとらえ、地形、自然災害と防災、開発と環境保全の取組を理解する活動 	<ul style="list-style-type: none"> 「世界の地域構成」において、世界各国の面積や人口、国境などから地域構成を大観したり、世界の国々や都市の位置から世界の国や地域についての関心を高めたりする活動 「世界各地の人々の生活と環境」において、世界各地の衣食住に着目して人々の生活の様子を考察したり、自然環境や宗教とのかかわりから生活や環境の多様性を理解したりする活動 「日本の地域的特色と地域区分」において、自然環境や人口、産業、交通、通信などの特徴をとらえたり、防災・減災のために行われている取組を理解したりする活動 	<ul style="list-style-type: none"> 「世界の地域構成」において、世界各国の面積や人口、国境などから地域構成を大観したり、国名や国旗の意味から世界の国や地域についての関心を高めたりする活動 「世界各地の人々の生活と環境」において、人々の生活とその場所の地形や気候、社会の様子に着目して人々の生活の様子を考察し、自然環境や宗教とのかかわりから生活や環境の多様性を理解する活動 「日本の地域的特色と地域区分」において、自然環境や人口、資源・エネルギーと産業、交通・通信の特色をとらえたり、防災・減災のための取組を理解したりする活動
内容の構成・排列、分量	○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応			
	<ul style="list-style-type: none"> 学習の導入部に、生徒の興味・関心を引き出す「導入資料」の設定、小集団での参加型学習である「みんなでチャレンジ」を配置し、グループで対話するなどの学習活動 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の導入の場面で、生徒の興味・関心が高まるような写真・図版の提示、本時の学習内容を確認し、自分の言葉で表現する「確認」等のコーナーを配置して他者と交流するなどの学習活動 	<ul style="list-style-type: none"> 単元のはじめに、大判な写真から地域を概観する「写真で眺める」の設定、単元のまとめに「学習を振り返ろう」の配置し、思考ツールを活用して他者と対話するなどの学習活動 	<ul style="list-style-type: none"> 学習したことを生かして、生徒が自分で考えたり、対話したりするための具体的な問いや活動を提示する「議論してみよう」の設定や、グループで話し合ったりするなどの学習活動
	○ 系統的・発展的に学習できるような工夫			
	<ul style="list-style-type: none"> 写真や雨温図などの資料の読み取りや、地域の調査や分析の手法を活用する場面 	<ul style="list-style-type: none"> 「地域の在り方」では、発表会に地域の方々を招いて意見を提案しようとするな 	<ul style="list-style-type: none"> 社会に対し生徒自身がどのように参画していくかを考える「未来に向けて」の設 	<ul style="list-style-type: none"> 地理的分野の学習に必要な地理的技能を習得する「スキルUP」を設定するなど

	を設定	どの工夫	定などの工夫	の工夫
	○ 内容の分量			
	・総ページ数 294 ページ (約 3 %減)	・総ページ数 310 ページ (約 1 %増)	・総ページ数 310 ページ (前回とほぼ同様)	・総ページ数 318 ページ (約 7 %増)
使用上の配慮等	○ 学習意欲を高める工夫			
	・「日本の諸地域」において、北海道における自然の特色を生かした産業や、今に受け継がれるアイヌ民族の文化を掲載するなどの工夫	・「日本の諸地域」において、北海道における自然環境を生かした産業や、持続可能な社会づくりの視点からアイヌ民族の文化を掲載するなどの工夫	・「日本の諸地域」において、北海道における自然を生かした観光産業や、自然と共生に生きるアイヌ民族の生活や文化を掲載するなどの工夫	・「日本の諸地域」において、北海道における自然環境を生かした観光や、アイヌの人々の生活や文化、アイヌ語に由来する主な地名を掲載するなどの工夫
	○ 主体的に学習に取り組む工夫			
	・単元を貫く「探究課題」を設定する活動や、1時間の学習課題を解決する「チェック&トライ」、単元を振り返る活動「探究のステップ」の掲載	・1時間の授業の見通しを分かりやすく示した「学習課題」や、章・節の学習を振り返るページ「学習のまとめと表現」の掲載	・章・節・各本文において、学習する内容を示した「章・節の問い」「毎時の学習課題」や、末尾に「学習を振り返ろう」「確認しよう」「説明しよう」の掲載	・導入ページに、単元を貫く問いを設定する「学習のはじめに」「節の問いを立てよう」や、各単元末に「まとめとふり返り」の掲載
	○ 使用上の便宜			
・教科書の使い方と学び方について説明するページの設定 ・ユニバーサルデザインフォントの使用 ・二次元コードを掲載	・教科書の使い方について説明するページの設定 ・ユニバーサルデザインフォントの使用 ・二次元コードを掲載	・教科書を活用した学び方について説明するページの設定 ・ユニバーサルデザインフォントの使用 ・二次元コードを掲載	・教科書の構成と学び方について説明するページの設定 ・ユニバーサルデザインフォントの使用 ・二次元コードを掲載	
指導上の配慮等	○ 地域素材			
	・旭山動物園や旭川市の雨温図、旭川市の住宅に関する二重とびらの玄関、旭川駅前前の歩道などが扱われている ・北方領土について、4つの島々の面積や、自然環境について扱われている ・アイヌ民族について、アイヌ語が由来になったとされる川が扱われている	・旭山動物園やそば畑、旭川市の雨温図、旭川市の住宅に関する二重とびらの玄関などが扱われている ・北方領土について、日本とロシアとの関係性の経緯や日本の立場について扱われている ・アイヌ民族の文化について、アイヌ語に由来する主な地名が扱われている	・旭山動物園や旭川市の雪や寒さへの工夫がなされた住宅などが扱われている ・北方領土について、歴史的背景を基に千島列島の周辺の国境に関することが扱われている ・アイヌ民族について、アイヌ語に起源をもつ地名などが扱われている	・旭山動物園や旭川市の雨温図や年間降雪日数、旭川市の玄関や屋根などの住宅の様子が扱われている ・北方領土について、国境の変化の様子について扱われている ・アイヌ民族について、自然環境との共生に関わることが扱われている

	○ ICTの活用			
	<ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードを掲載し、関連動画の視聴や練習問題などが活用できるような工夫 ・プレゼンテーションソフトの活用の仕方を紹介する工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードを掲載し、動画やクイズなど多様なデジタル・コンテンツへのアクセスができる工夫 ・プレゼンテーションソフトの活用の仕方を紹介する工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードを掲載し、学習の振り返るワークシートなどが活用できる工夫 ・デジタル地図やプレゼンテーションソフトの活用の仕方を紹介する工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードを掲載し、選択した都市の雨温図を重ね合わせることで活用できるツールが活用できる工夫 ・デジタル地図やプレゼンテーションソフトの活用の仕方を紹介する工夫
	○ 小中連携による指導			
	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の導入部において、小学校社会で学習した内容や用語を写真で振り返るページを掲載 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の冒頭において、小学校社会科との接続・関連を図るページを設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文ページの脚注欄において、「小学校・歴史・公民・他教科との関連」を掲載 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の導入部や本文ページの脚注欄において、小学校の振り返りとして学習した学年と学習内容を掲載
本市生徒の学習の状況等	○ 社会的事象の意味や意義について多面的・多角的に考察する力の育成			
	<ul style="list-style-type: none"> ・「チェック」「トライ」のアイコンを設け、まとめにつながる問いかけや問いに対するまとめの活動が位置付けられている ・多様な思考ツールを活用して内容を考察できるよう工夫がなされている 	<ul style="list-style-type: none"> ・章の始めに世界や日本、自分の住んでいる地域を自分事として捉え、比較して考える工夫がなされている ・思考ツールでのまとめやグループでの対話で社会的課題を考察する活動が設定される工夫がなされている 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元末の「学習を振り返ろう」で、地理的な見方・考え方を意識させ、章の問いをまとめる活動が位置付けている ・新旧の地形図を比較させたり、考えを整理する方法として思考ツールを紹介したりする工夫がなされている 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元のまとめと振り返りのページで、問いに対するまとめの活動が位置付けられている ・思考ツールを使ってまとめるなど、単元の間いを深めるための工夫がなされている
	○ 複数の資料から適切な資料を選択したり、資料を関連付けて情報を読み取ったりする力の育成			
	<ul style="list-style-type: none"> ・「スキル・アップ」のコーナーを位置付け、基本的な技術を身に付けることができるよう工夫がなされている ・写真や地図、グラフなどの資料を読み取る力や考える力、説明する力を身に付けることができるよう工夫がなされている 	<ul style="list-style-type: none"> ・「地理の技」のコーナーが設定され、地図やグラフなどの資料の読み取りや考察の仕方を示す工夫がなされている ・単元のまとめで、複数の資料から確認や振り返りができるよう工夫がなされている 	<ul style="list-style-type: none"> ・「地図帳を活用した学び方」が設定され、教科書本文と資料を関連付ける学び方ができるよう工夫がなされている ・単元の振り返りで課題をまとめるために活用する資料が示され、適切に選択できるよう配慮がなされている 	<ul style="list-style-type: none"> ・「スキルUP」のコーナーを設定し、統計資料や地図などの必要な技能を系統立てて習得できるよう工夫がなされている
○ 既得の知識を関連付けて学習内容を深く理解し、概念などに関する知識として獲得するための配慮				
<ul style="list-style-type: none"> ・「ワードチェック」のコーナーや「社会科用語マスター」で、単元の学習に出てきた用語やその意味を確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・「確認」や「表現」のアイコンを毎時間設置し、学習したことを確認したりや自分の言葉で表現したりする 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元全体を振り返ることができる項目の設定や「地理プラス」のコラムや特設ページの活用により、学びが 	<ul style="list-style-type: none"> ・1時間ごとに「確認」や「表現」のアイコンを設定し、学習を確かめるための問いを示すよう工夫がなされて 	

	<p>することができるよう工夫がなされている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数多くのページに視点の例を示すマークが記載され、地理的な見方・考え方を働かせることができるよう配慮がなされている 	<p>ことができるよう工夫がなされている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・深い学びが促されるよう、各章のとびらに、地理的な見方・考え方を提示するなどの配慮がなされている 	<p>深まるよう工夫がなされている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史・公民で学習する事項を表記する配慮がなされている 	<p>いる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭ページや毎時間に見方・考え方の視点を示し、学習全体を見通して見方・考え方を働かせることを促すなどの配慮がなされている
その他				